

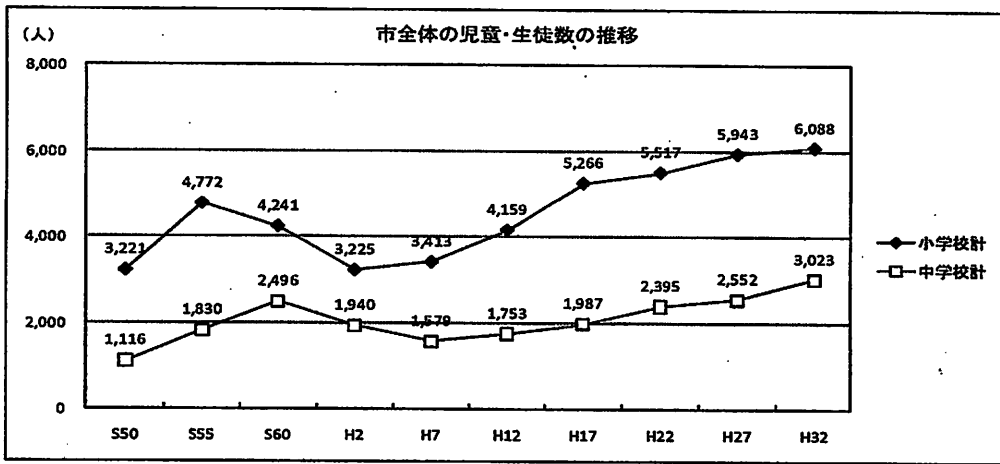
\*総人口  
H23 41,402人  
\*小学校(計9校)児童数  
H23 5,517人  
\*中学校(計4校)生徒数  
H23 2,548人

I 現状

1 小中学校の現状

(1) 児童生徒数の推移

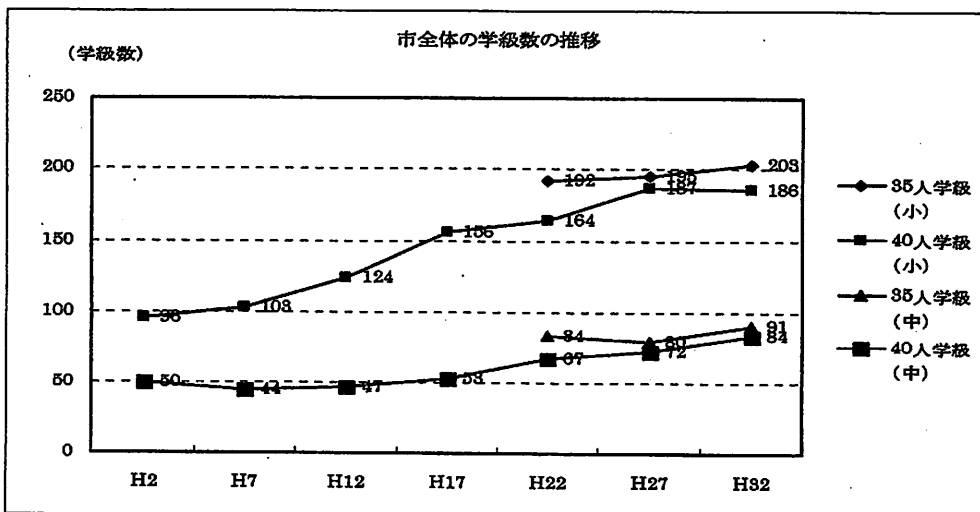
- ・小学校の児童数は、昭和55年の4,772人をピークに減少傾向を示していたが、平成2年以降再び増加に転じてその傾向を持続しており、平成22年には5,517人となっている。将来の推移についても、増加すると予想される(※平成23年は5,534人)
- ・中学校の生徒数は、小学校より5年遅れで同じ傾向を示しており、昭和60年の2,496人をピークに減少傾向を示していたが、平成7年以降再び増加に転じてその傾向を持続しており、平成22年には2,395人となっている。(※平成23年は2,548人) 将来の推移についても増加すると予想される。(学校施設整備マスタープランより)



(2) 学級数の推移

- ・小学校の学級数は、平成2年度以降増加傾向を持続しており、平成27年度のピークまで続くことが予想される。
- ・中学校の学級数は、小学校より遅れて増加傾向を示し、平成32年度頃まで増加し続けると予想される。

※平成22年度以降は、全学年において35人学級を実施した想定の数値も示す。(学校施設整備マスタープランの推計より算出 ※学級数には特別支援学級の数は含まない)



#### IV 学校別の考え方

##### (1) 小学校

###### ①西小学校

現在は「適正規模」であるが、今後については一時的に増加し「大規模」になるものの「過大規模」までには至らず、その後は緩やかに減少し現状の規模の範囲で推移するものと思われるので、今後は「大規模校への対応」も踏まえた上で、推移を見守っていく。

###### ②東小学校

現在及び推計においても、「適正規模」の範囲内にあるので、今後も推移を見守っていく。

###### ③北小学校

現在は「大規模」であるが、推計においては、平成 25 年度の竹の山小学校の開校により「適正規模」の範囲内に落ち着いていくので、今後も推移を見守っていく。

###### ④南小学校

現在は「適正規模」の範囲内にあるが、推計においては増加傾向を示しており「大規模」となる見込みなので、今後も推計を見守りながら、「大規模校への対応」を検討していく。

###### ⑤相野山小学校

現在は「適正規模」の範囲内にあるが、推計においては「小規模」となる見込みなので、今後の推移を見守りながら必要に応じて「小規模校への対応」を検討していく。

###### ⑥香久山小学校

現在は「過大規模」となっているが、平成 22 年度から減少傾向を示し、推計においても引き続き減少が見込まれ「大規模」で推移するものと思われるので、今後も推移を見守りながら、「大規模校への対応」を検討していく。

###### ⑦梨の木小学校

現在及び推計においても「適正規模」の範囲内にあるので、今後も推移を見守っていく。

###### ⑧赤池小学校

現在は「適正規模」の範囲内にあるが、推計においては増加傾向を示しており「大規模」となる見込みなので、今後も推移を見守りながら、「大規模校への対応」を検討していく。

###### ⑨竹の山小学校（平成 25 年 4 月開校）

平成 25 年 4 月の開校当初は「適正規模」の範囲内にあるが、推計においては増加傾向を示しており「大規模」となる見込みなので、開校後においては、推移を見守りながら、「大規模校への対応」を検討していく。

## 学校適正規模等に関するアンケート集計結果

## 1. 目的

日進市立小中学校適正規模等検討委員会が、学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針を検討するにあたり、小中学生を持つ保護者や学校教職員の意識を把握し、今後の基本方針の策定に向けての参考とする。

## 2. 調査対象

- (1) 市内小学2年生及び5年生の保護者
- (2) 市内中学2年生の保護者
- (3) 市内小中学校教員

## 3. 実施方法

学校を通じてアンケート（質問用紙とマークシート）を配布・回収

## 4. 実施時期

平成23年9月20日（火）から9月29日（木）まで

## 5. 調査項目と対象者

- (1) 小学校1学年あたりの望ましい学級数とその理由…（小保）（教員）
- (2) 小学校1学級あたりの望ましい児童数とその理由…（小保）（教員）
- (3) 児童の望ましい通学距離…（小保）
- (4) 児童の望ましい通学方法…（小保）
- (5) 中学校1学年あたりの望ましい学級数とその理由…（中保）（教員）
- (6) 中学校1学級あたりの望ましい生徒数とその理由…（中保）（教員）
- (7) 生徒の望ましい通学距離…（中保）
- (8) 生徒の望ましい通学方法…（中保）
- (9) 小規模校に対する望ましい対応とその理由…（小保）
- (10) 大規模校に対する望ましい対応とその理由…（小保）（中保）
- (11) 学区の見直しで配慮する事項…（小保）（中保）

※小保…小学生保護者、中保…中学生保護者、教員…小学校及び中学校の教員

## 6. 回収率

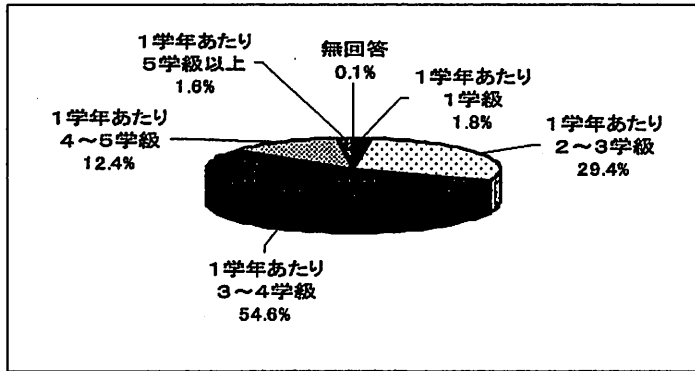
対象者	配布数	回収数	回収率
小学生（2及び5年）保護者	1,796	1,548	86.2%
中学生（2年）保護者	873	637	76.1%
小中学校教員	424	365	86.1%
合計	3,093	2,550	82.4%

2. 望ましい学校規模・学級規模について

問5 小学校1学年あたりの学級数として、望ましいと思うものを1つお選びください。

- ① 1学年あたり1学級 (1校あたり6学級)
- ② 1学年あたり2～3学級 (1校あたり12学級～18学級)
- ③ 1学年あたり3～4学級 (1校あたり18学級～24学級)
- ④ 1学年あたり4～5学級 (1校あたり24学級～30学級)
- ⑤ 1学年あたり5学級以上 (1校あたり30学級以上)

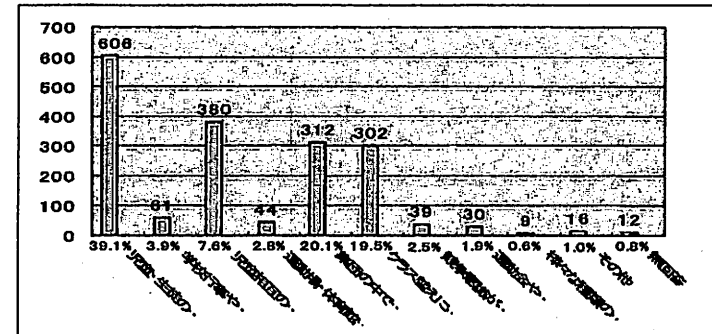
1 1学年あたり1学級	28	1.8%
2 1学年あたり2～3学級	456	29.4%
3 1学年あたり3～4学級	846	54.6%
4 1学年あたり4～5学級	192	12.4%
5 1学年あたり5学級以上	25	1.6%
6 無回答	2	0.1%
合計	1549	100.0%



問6 問5の回答をされた理由として、最も当てはまるものを1つお選びください。

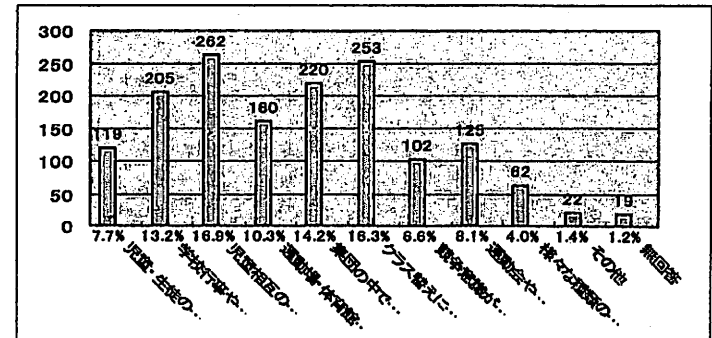
(2番目に当てはまるものを、問7でお答えいただけます。)

- ① 児童・生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- ② 学校行事や部活動等において、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。
- ③ 児童相互の人間関係が深まりやすく、また異った学年との縦の交流が生まれやすい。
- ④ 運動場・体育館・プールなどの施設や特別教室、教材備品などを余裕をもって利用することができる。
- ⑤ 集団の中で、多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる。
- ⑥ クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。
- ⑦ 競争意識が高揚することで、児童・生徒が互いに切磋琢磨し、たくましさ等を育みやすい。
- ⑧ 運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。
- ⑨ 様々な種類の部活動の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。
- ⑩ その他

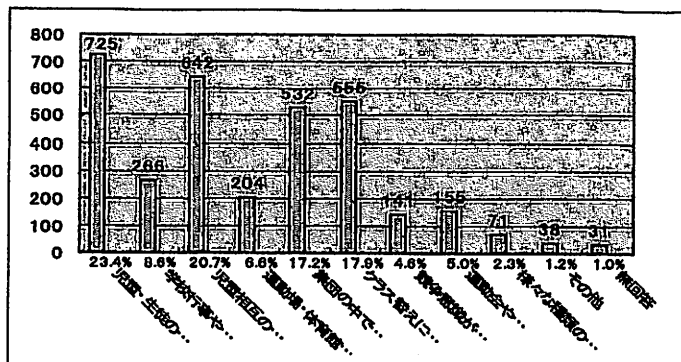


問7 問5の回答をされた理由として、2番目に当てはまるものを1つお選びください。

なお、選択肢につきましては、問6のものをお使いください。



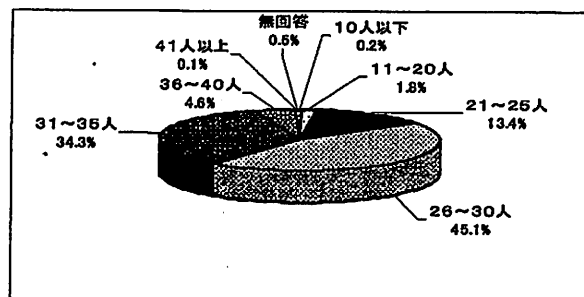
※ 問6(理由1)と問7(理由2)の合算



問8 小学校1学級あたりの児童数として、望ましいと思うものを1つお選びください。

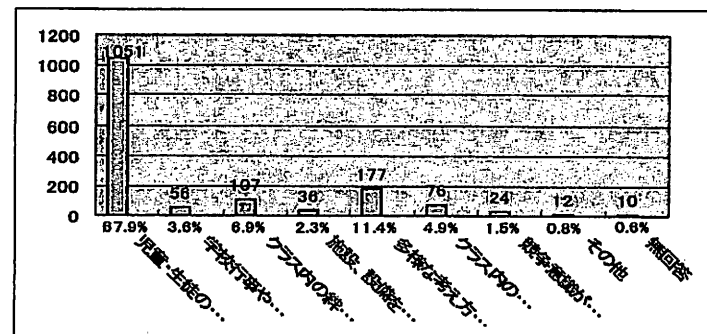
- ① 10人以下
- ② 11人～20人
- ③ 21人～25人
- ④ 26人～30人
- ⑤ 31人～35人
- ⑥ 36人～40人
- ⑦ 41人以上

1 10人以下	3	0.2%
2 11～20人	28	1.8%
3 21～25人	208	13.4%
4 26～30人	699	45.1%
5 31～35人	531	34.3%
6 36～40人	72	4.6%
7 41人以上	1	0.1%
8 無回答	7	0.5%
合計	1549	100.0%

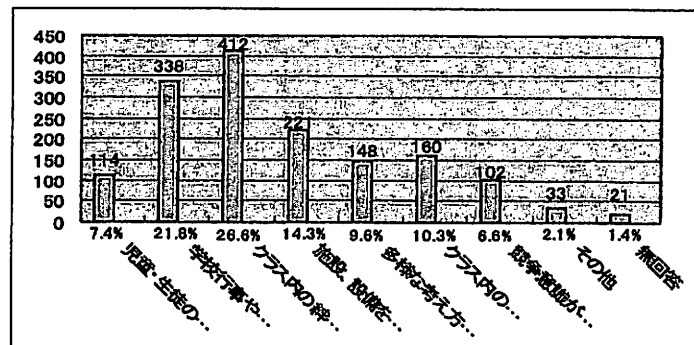


問9 問8の回答をされた理由として、最も当てはまるものを1つお選びください。  
(2番目に当てはまるものを、問10でお答えいただけます。)

- ① 児童・生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- ② 学校行事や部活動等において、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。
- ③ クラス内の絆が強まる。
- ④ 施設・設備を余裕をもって利用することができる。
- ⑤ 多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる。
- ⑥ クラス内の人間関係に変化が待てる。
- ⑦ 競争意識が働き、運動や学習意欲が向上する。
- ⑧ その他



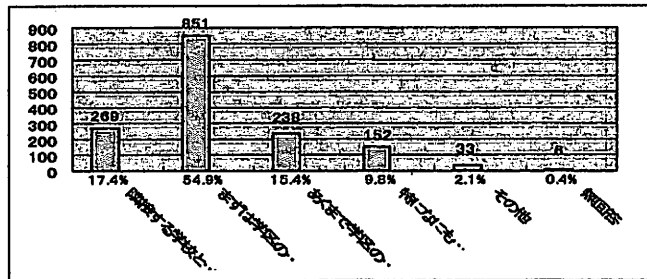
問10 問8の回答をされた理由として、2番目に当てはまるものを1つお選びください。  
なお、選択肢につきましては、問9のものをお使いください。



4. 学校規模及び配量の適正化について

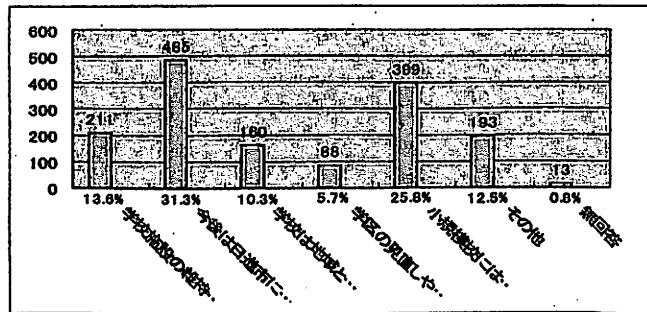
問 13 過小規模校（国の基準では5学級以下：複数年で1クラスとなる複式学級が発生する規模）又は小規模校（国の基準では6～11学級：クラス替えができない学年が発生する規模）に対する対応として、望ましいと思うものを1つお選びください。

- ① 隣接する学校と統合し、適正な児童数・学級数の確保を図る。
- ② まずは学区の見直し及び弾力化(\*)により、適正な児童数・学級数の確保を図る。それでも適正化が困難な場合は、隣接する学校等と統合する。
- ③ あくまで学区の見直し及び弾力化により、適正な児童数・学級数の確保を図る。隣接する学校等と統合は行わない。
- ④ 特になにもしない。
- ⑤ その他



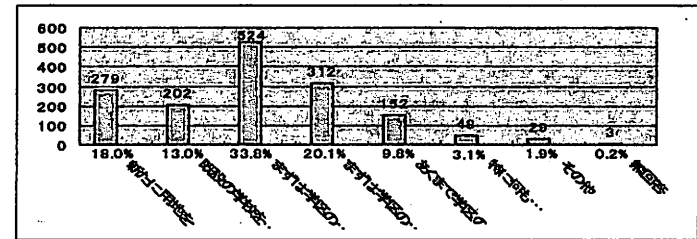
問 14 問 13 の回答をされた理由として、当てはまるものを1つお選びください。

- ① 学校施設の維持管理には多額のコストがかかるので、その分を他の施策へ回す方がよい。
- ② 今後は日進市においても少子高齢化が進むため、学校施設の用途転用や跡地利用を考えるべき。
- ③ 学校は地域とともに歩んできた歴史があり地域の衰退につながる。
- ④ 学区の見直しや弾力化は、コミュニティの分断や希薄化を招きかねない。
- ⑤ 小規模校には小規模校の良さがあり、それを活かした教育を行う。
- ⑥ その他



問 15 大規模校（国の基準では25学級以上）又は過大規模校（国の基準では31学級以上）に対する対応として、望ましいと思うものを1つお選びください。

- ① 新たに用地を確保し分離新設校を建設することで、適正な児童数・学級数の確保を図る。
- ② 既設の学校を増改築することで、適正な児童数・学級数の確保を図る。
- ③ まずは、学区の見直し及び学区の弾力化を行うことで、適正な児童数・学級数の確保を図る。それでも適正化が困難な場合は、分離新設校を建設する。
- ④ まずは、学区の見直し及び学区の弾力化を行うことで、適正な児童数・学級数の確保を図る。それでも適正化が困難な場合は、既設の学校を増改築を行う。
- ⑤ あくまで、学区の見直し及び学区の弾力化を行うことで、適正な児童数・学級数の確保を図る。
- ⑥ 特になにもしない。
- ⑦ その他



問 16 問 15 の回答をされた理由として、当てはまるものを1つお選びください。

- ① 児童生徒に余裕のある教育環境を整備するべきである。
- ② 学校施設の建設や増改築には多額のコストがかかるので、その分を他の施策へ回す方がよい。
- ③ 今後は日進市においても少子高齢化が進むため、新たなハード整備は行うべきではない。
- ④ 学区の見直しや弾力化は、地域コミュニティの分断や希薄化を招きかねない。
- ⑤ 大規模校には大規模校の良さがあり、それを活かした教育を行う。
- ⑥ その他

